

# 令和4年度学生生活満足度調査および生活実態調査

学生生活支援委員会

## I. 調査時期, 対象者数

1. 調査時期：令和5年1月下旬～2月上旬
2. 対象者および対象者数・回答者数及び回答率

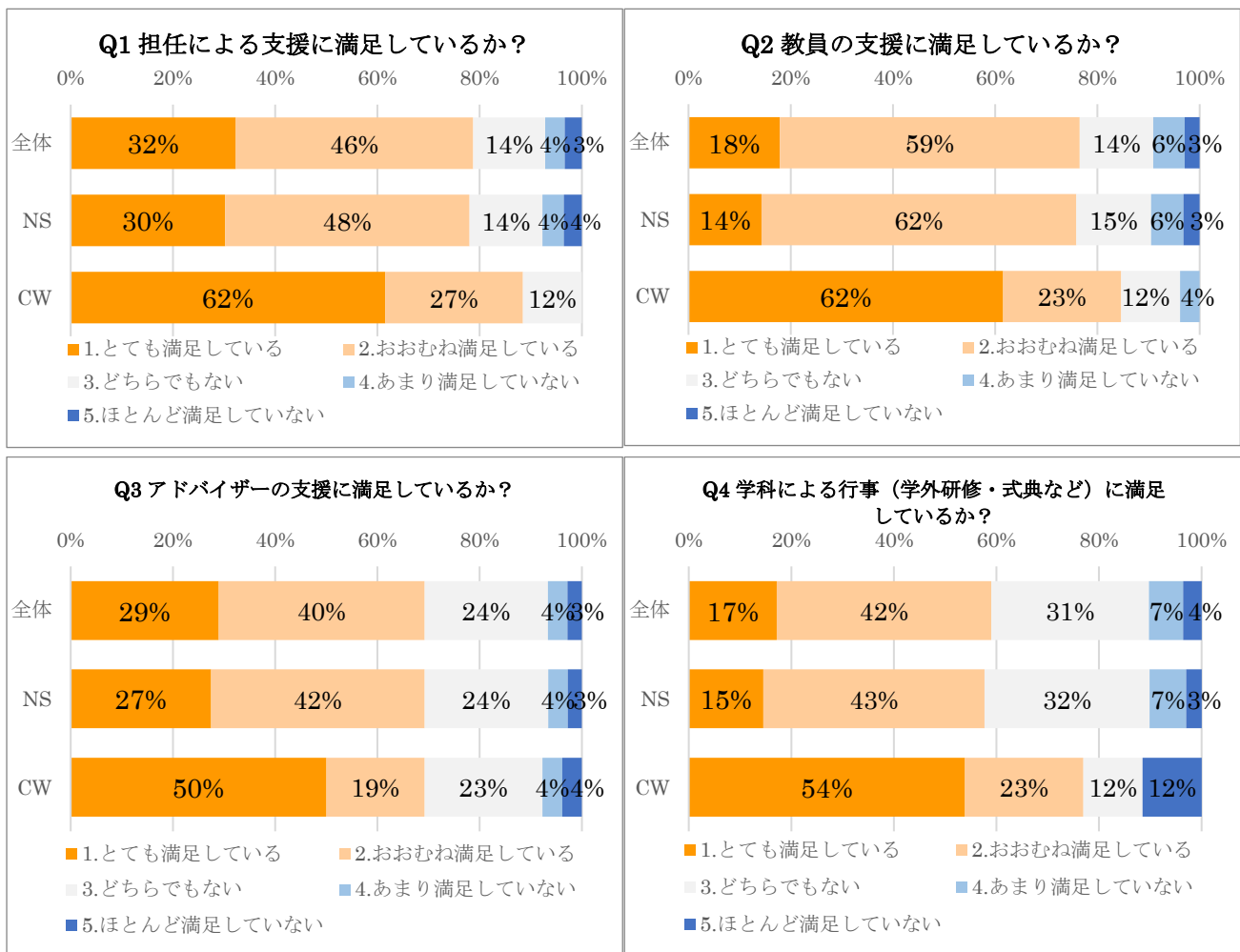
対象者：令和4年度在学生（休学者を除く令和5年1月1日に在学している者）

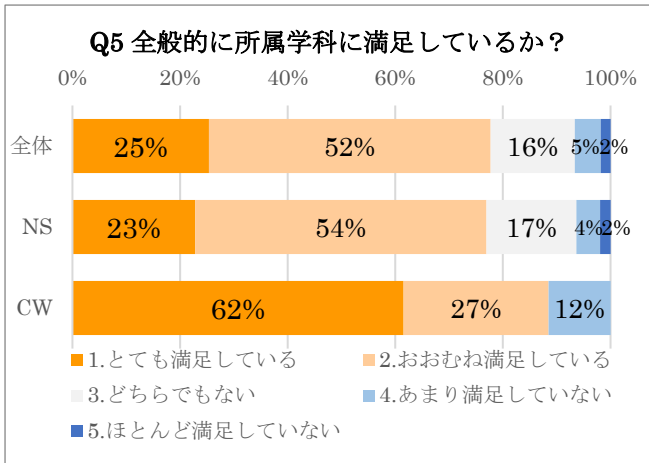
学生	クラス別					学科別		全体
	NS1	NS2	NS3	CW1	CW2	NS	CW	
対象者数	114	112	143	13	13	369	26	395
回答者数	113	110	141	13	13	364	26	390
回答率	99.1%	98.2%	98.6%	100%	100%	98.6%	100%	98.7%

## II. アンケート結果

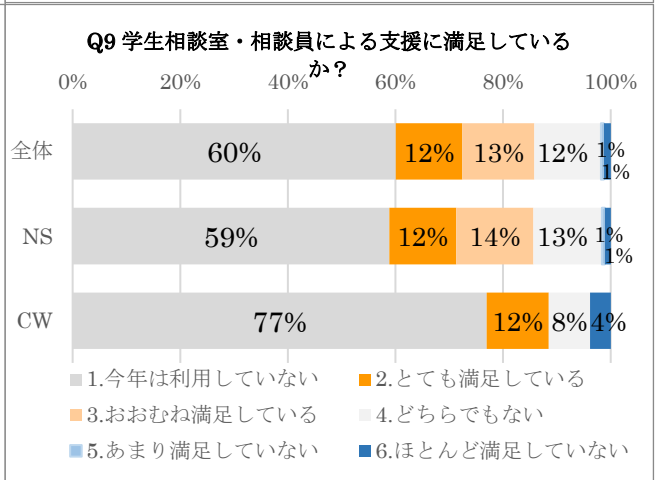
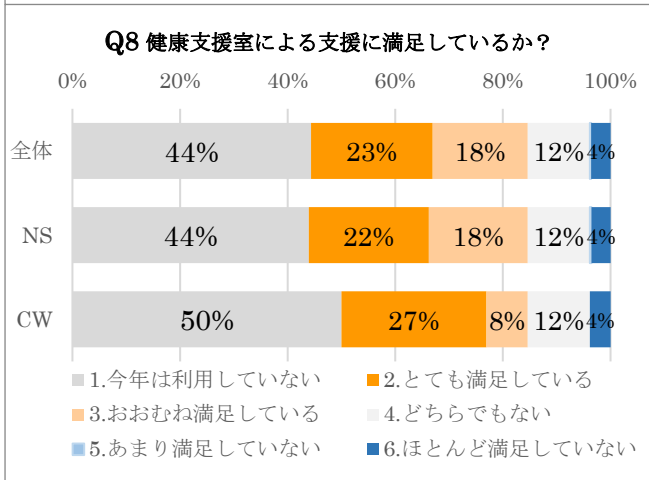
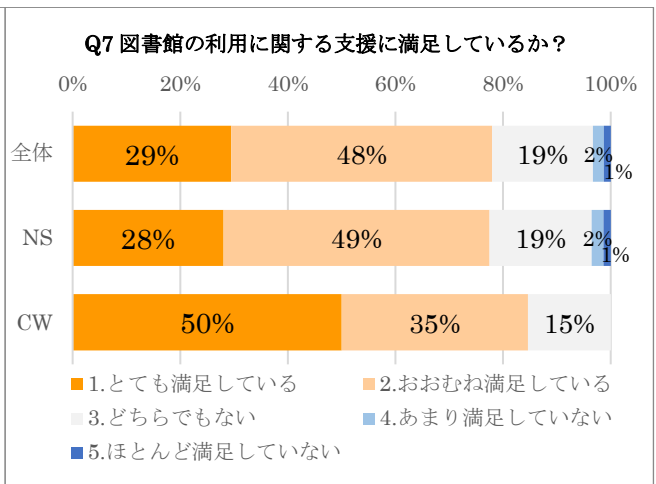
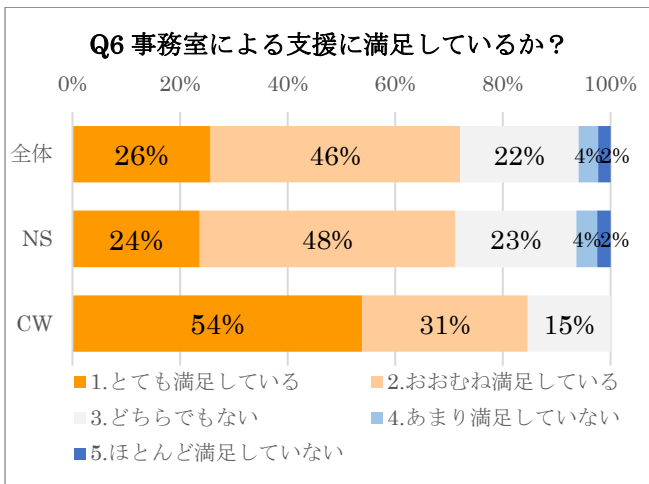
### 1. 大学生生活満足度

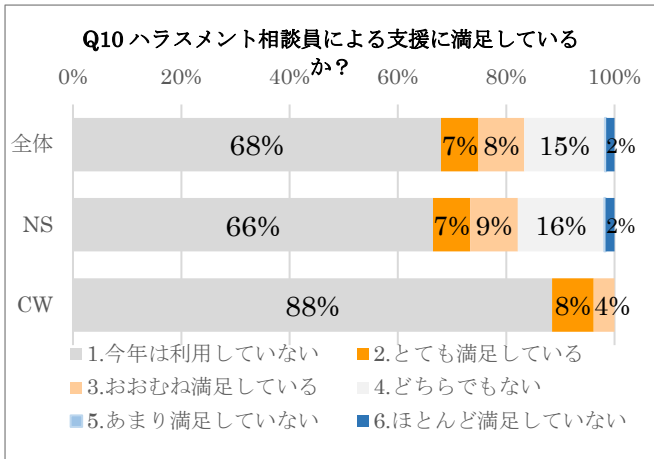
#### 1) 学科支援



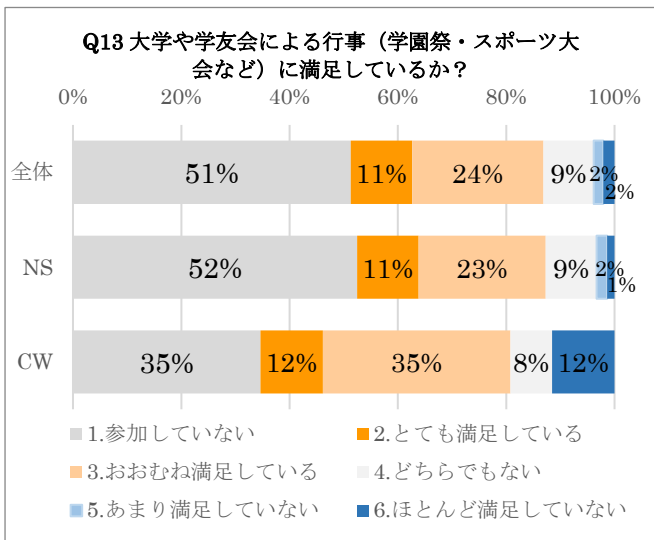
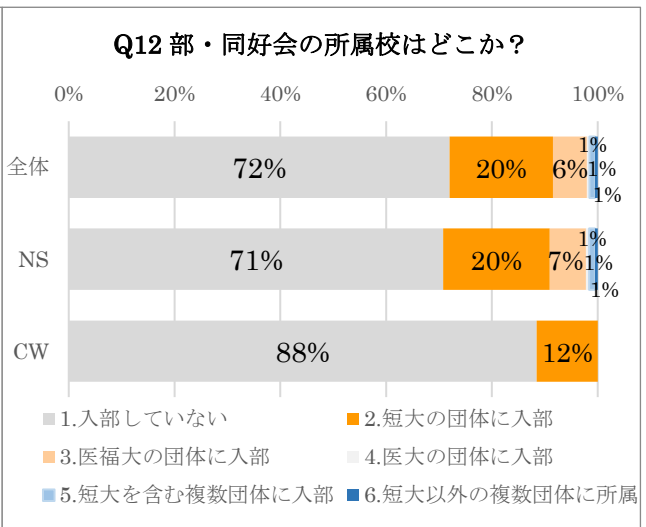
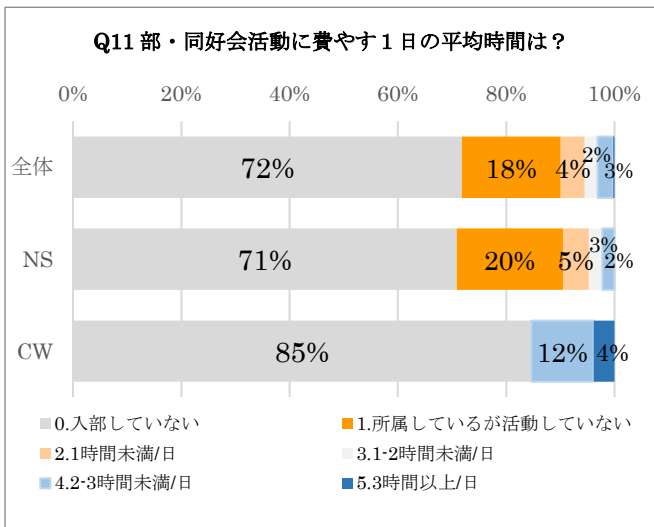


## 2) その他の部署の支援

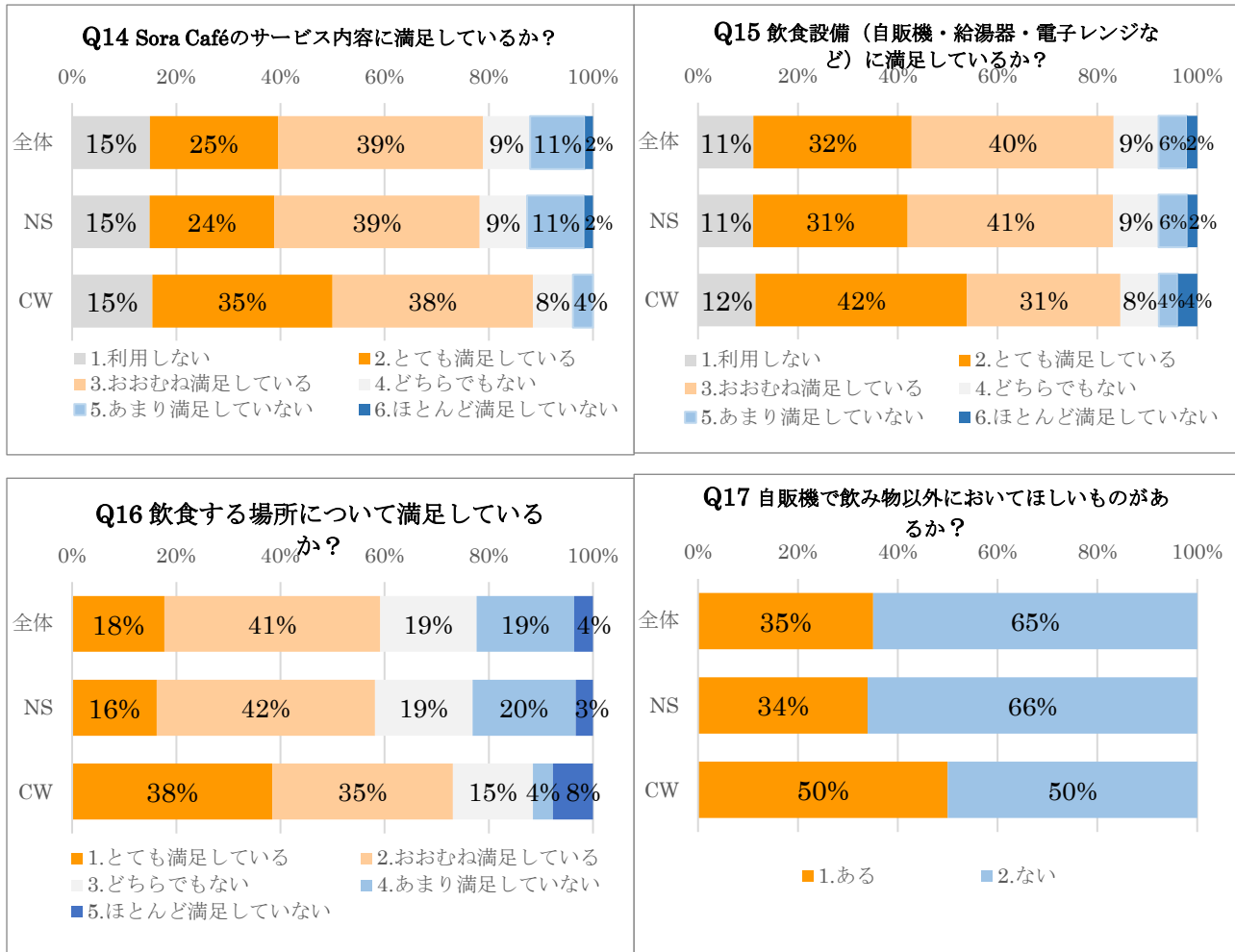




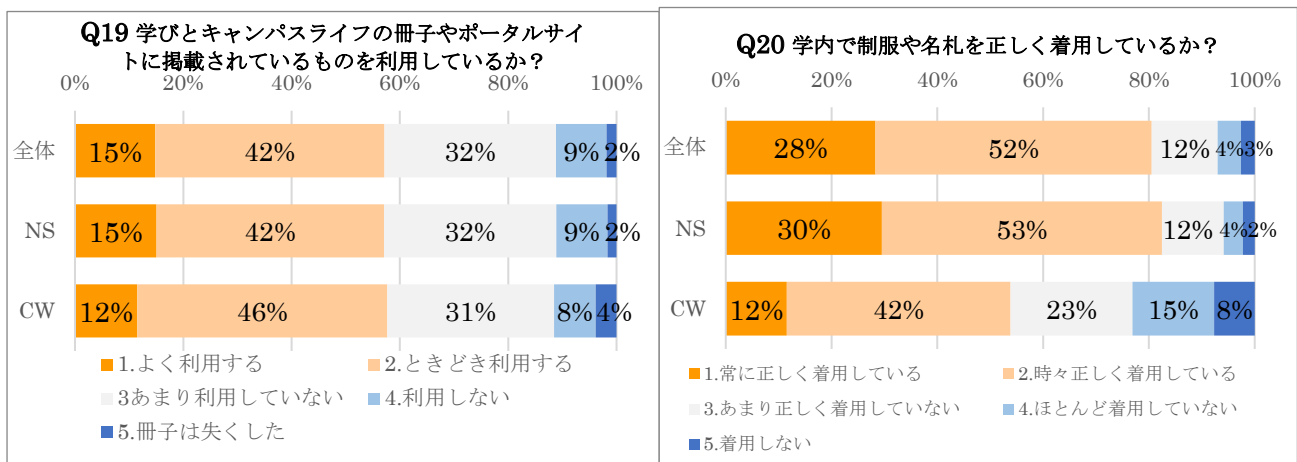
3) 学友会（部・同好会）の活動について

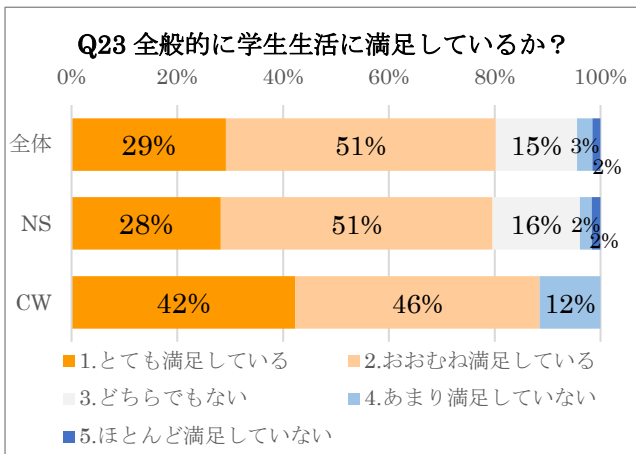
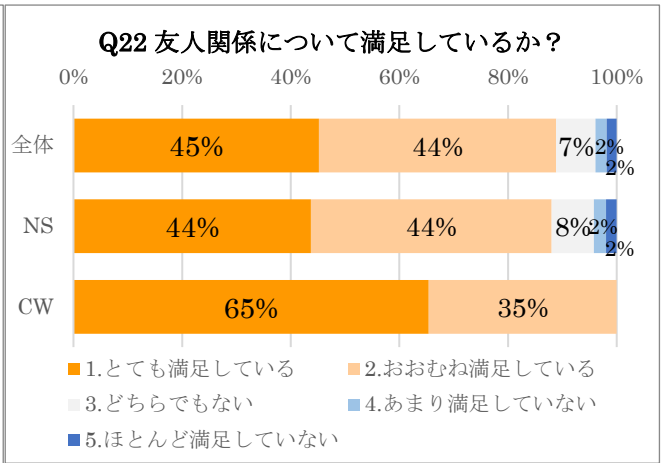
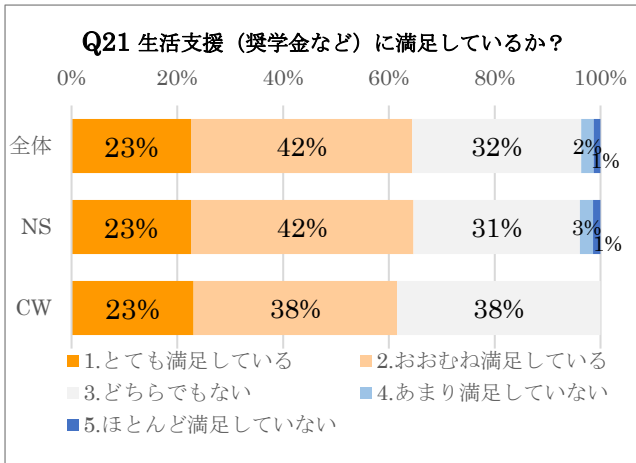


4) 飲食施設について

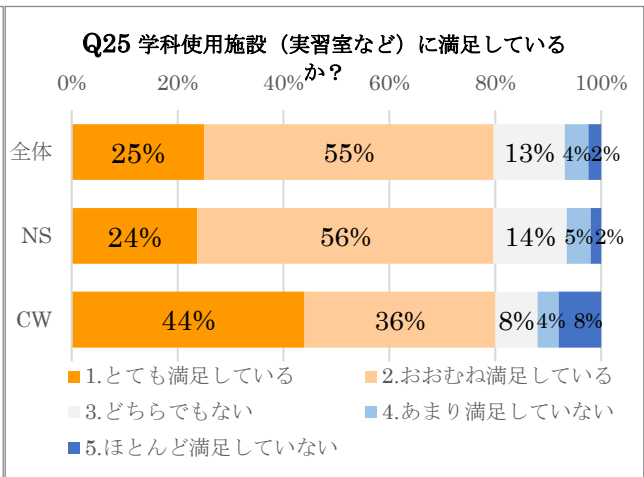
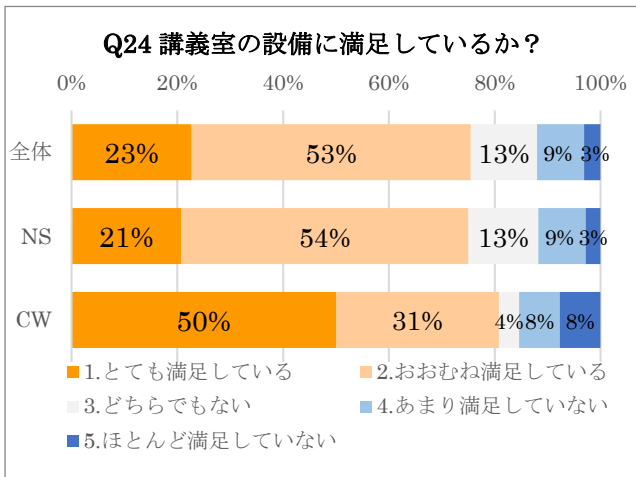


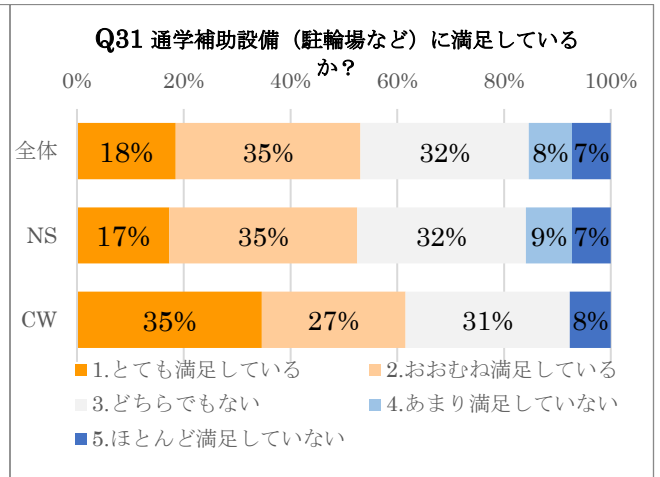
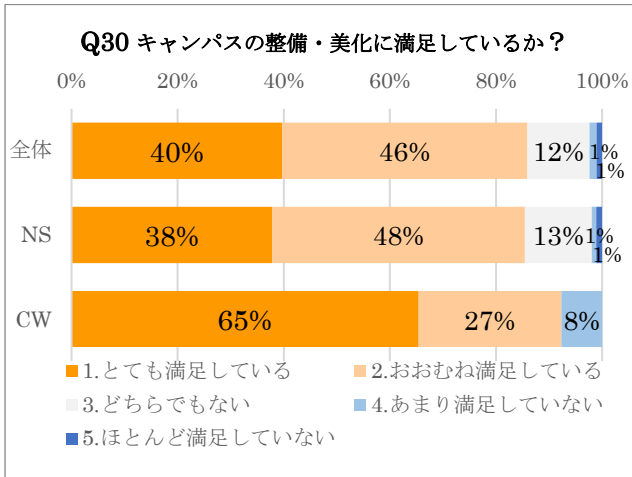
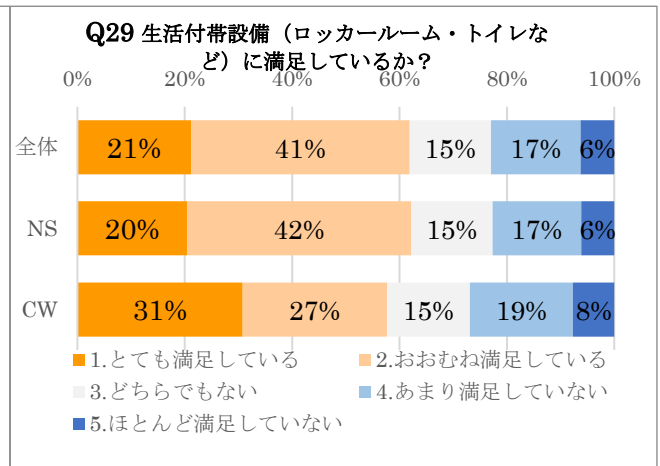
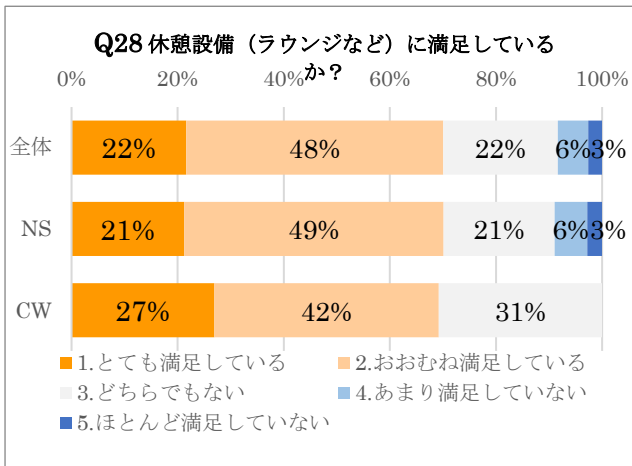
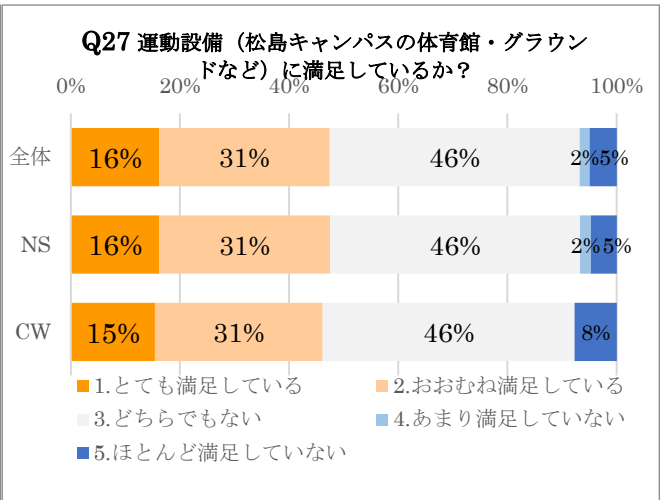
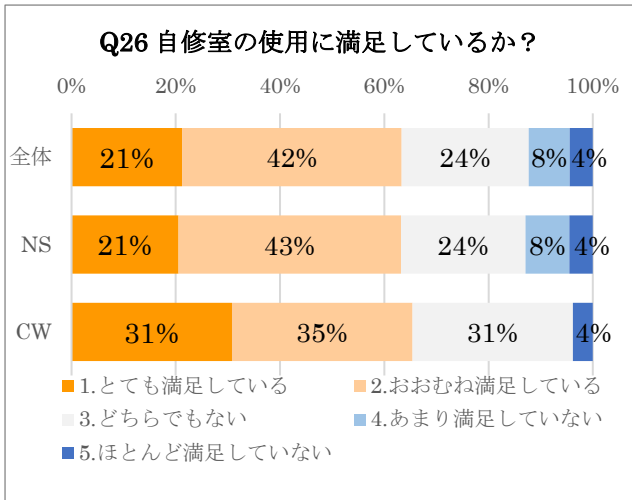
5) その他

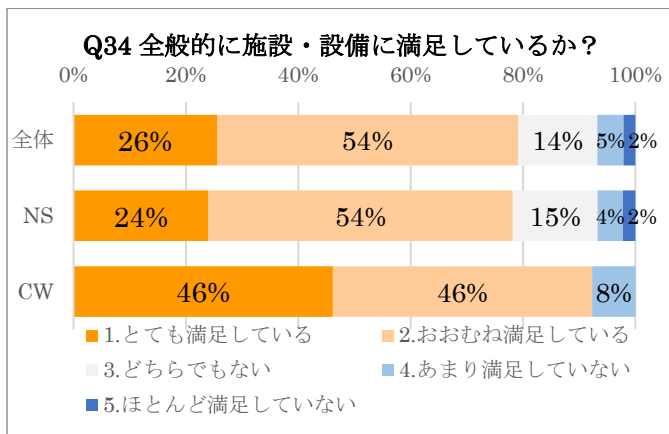
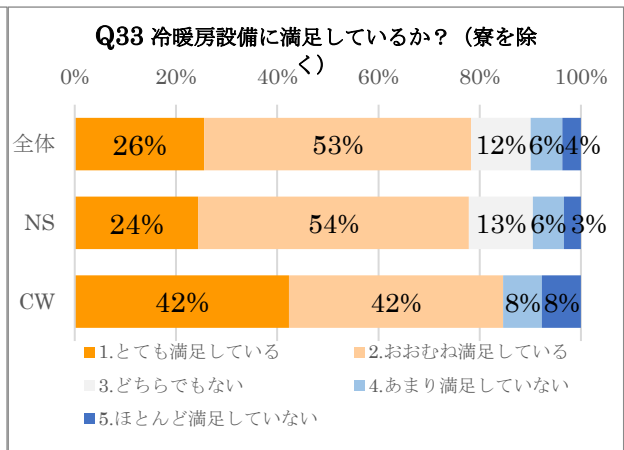
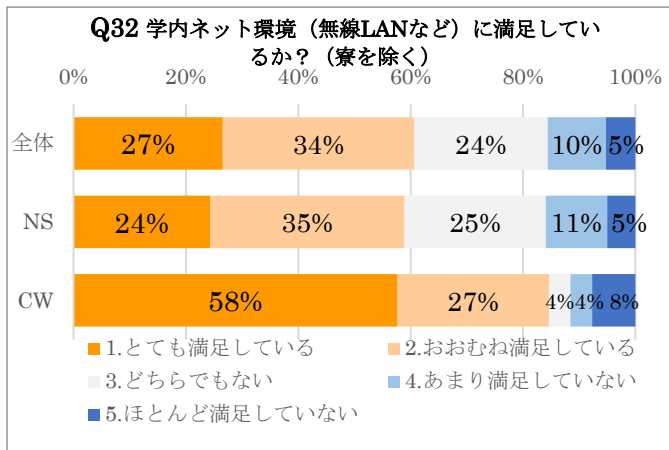




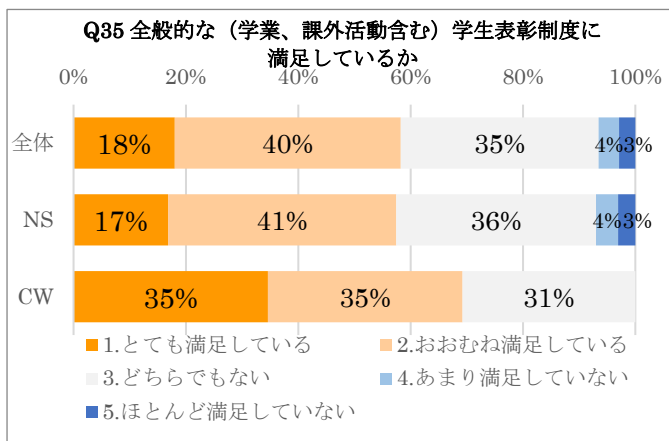
## 6) 施設・設備について







7) その他



8) 自由記述（Q18, Q36～39）

①岡山キャンパスの学生生活について要望・意見

- ・更衣ロッカーについて（ロッカールームが狭い、ロッカー自体が小さい、学年が同一場所だと更衣しづらい）
- ・教室にゴミ箱がない。教室移動時に消しゴムのカスを捨てることに困る。
- ・空きコマに使える部屋を増やしてほしい。
- ・電車通学でも駅からの自転車通学を許可してほしい。
- ・駐輪場に屋根がない。野ざらしはやめてほしい。雨ガッパをかけるところがなく濡れてしまう。

- ・原付バイク通学を認めてほしい。
- ・駐車場がほしい。
- ・駅からスクールバスを出してほしい。
- ・4階ラウンジが狭く、飲食できる場所を増やしてほしい。
- ・電子レンジ数を増やしてほしい。
- ・食堂での現金使用を可能にしてほしい。
- ・ソラカフェメニューが少ない。
- ・自販機においてほしいもの：アイス、お菓子、軽食、カップ麺

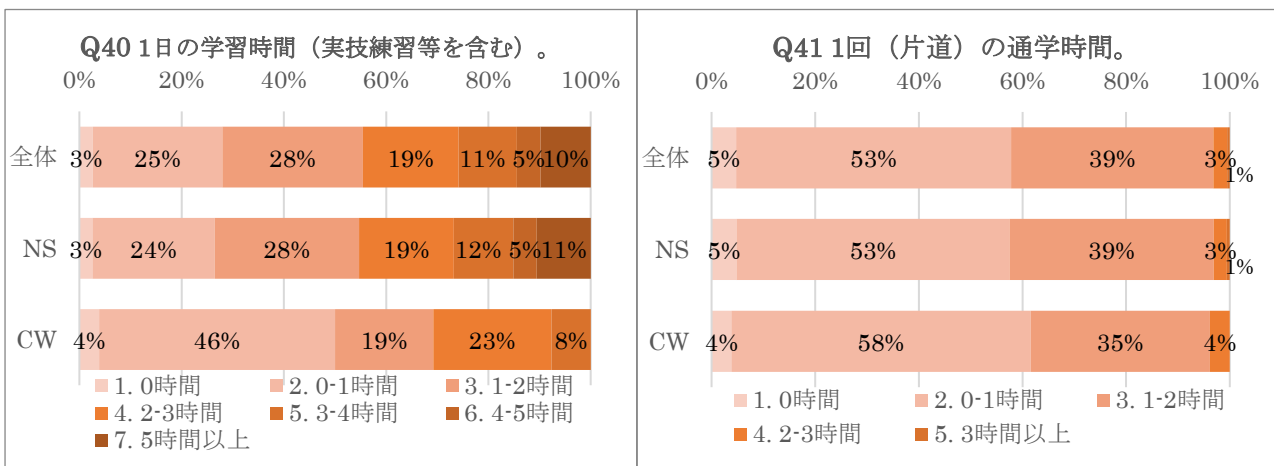
②松島キャンパスでの学生生活について要望・意見

- ・遠い。駅から自転車通学したい。
- ・休憩スペースが少ない。もう少し椅子やソファなどほしい。
- ・夏は暑すぎる。冬は1階は寒すぎる。

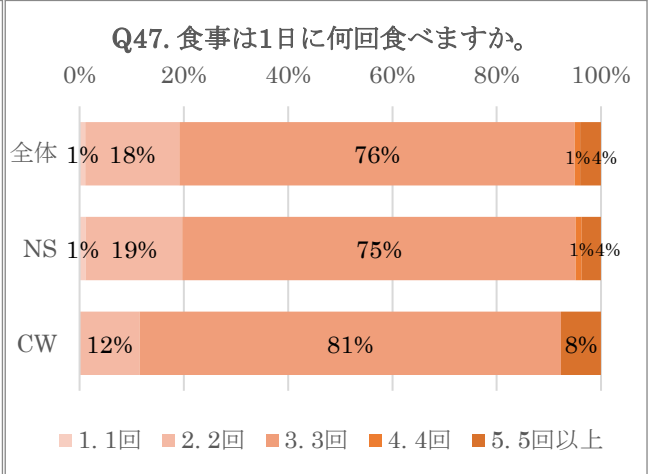
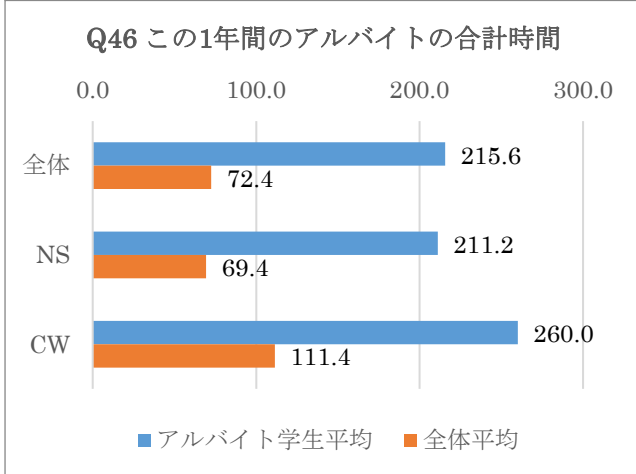
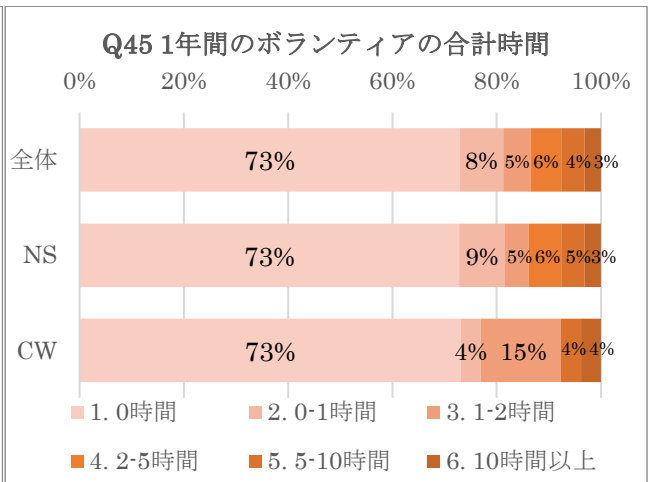
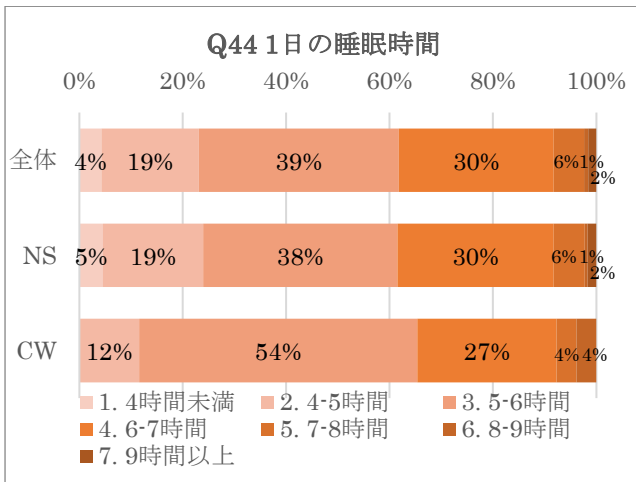
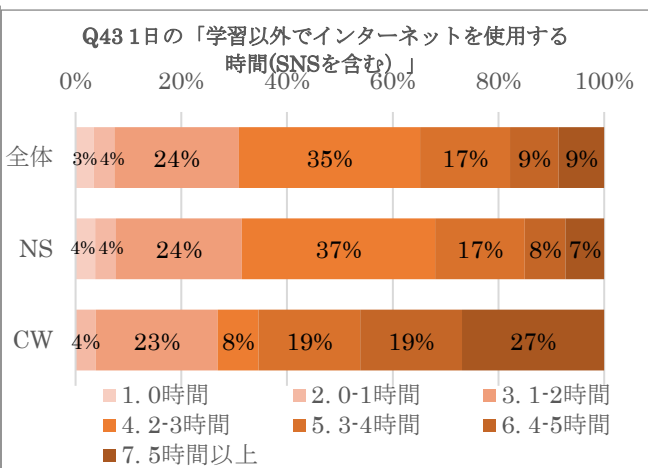
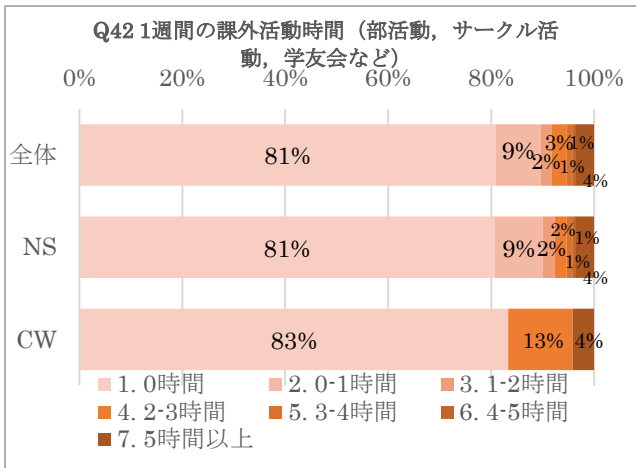
③岡山キャンパスの講義室・設備・環境について

- ・302教室では、1番前だとスクリーンが見づらい。
- ・マイクが聞こえなかったり、ビデオの音が大きかったり不具合がある。
- ・椅子が固すぎて座りづらい。クッションのあるものにしてほしい。実習室の椅子も背もたれのあるものにしてほしい。
- ・机が狭い。高さがもう少し欲しい。
- ・隣の人との間隔が狭い。
- ・冷暖房の調節が悪い時がある。
- ・トイレに行きづらい。

2. 生活実態調査







### Ⅲ. 分析まとめ

#### 1. 看護学科

##### 1) 学生満足度調査

##### ◆学科支援について

担任による支援、教員支援については75%以上、アドバイザー支援については看護学科全体では70%を少し切っているが1年生は83.4%の学生が満足しており、満足していない学生はいずれも10%未満であった。学科行事に満足していない割合は10.1%であり、昨年度（25%）よりかなり減少している。新

型コロナウイルス感染予防対策をとりつつ、新校舎に移転した中でも可能な限り行事を行ったことで不満足である学生が減少したと考えたい。総合的に所属学科に満足している学生が 76.9%であることから学科としての学生支援はおおかたできていると考える。しかし、学年によっては学科支援に満足していない学生が 10%以上いるため、学科支援に対する自由記述を設けて学生の意見を聞くことも必要である。

◆事務支援 71.1%、図書館 77.5%の学生が満足しており、不満足な学生は 10%未満であった。

◆健康支援室等の学生生活支援については約半数の学生が利用しておらず、利用した学生はほぼ満足している。

◆部・同好会については約 70%の学生が入部をしておらず、大学行事についても約 50%の学生が参加していない。参加した学生は満足している傾向にあるが半数の学生が参加していない。

今年度は学園祭も実施されたが、キャンパスが離れたことで部活動への入部者が減り学園内の学生同士の結びつきが少ないことで参加者が少なかったとも考えられる。キャンパスは離れていても学園祭等行事には多くの学生が参加できるよう工夫が必要である。

◆Sora Café のサービス内容については、利用している学生が約 85%であり、そのうち 74%の学生は満足していた。営業時間を長くしてほしい、購入するのに時間がかかる、現金も使えるようにしてほしい等の意見が少数あった。飲食場所に満足していない学生が 23.1%と多いが、食事をする場所がない、狭い、座れない時がある等自由記述で意見を記述していたのは 7 件であった。令和 4 年度は新型コロナウイルス感染予防のため、カフェの座席数を少なくしていたことも要因であると考えられる。食事ができる教室は示してあり、数的には食事場所が不足することはなくても、昼休憩は 4 階でとりたくてもとれなかった学生がいたことが推測できる。次年度からは 4 階カフェの席を増やしているため、4 階で休憩ができる学生数が増えるのではないかと考える。

学生生活満足度調査は例年年度末に実施している。今年度は新キャンパスに移転したこともあり、前期終了時点で簡単な学生生活に関する調査を行った。100 大講義室で飲水許可、自修室が空いていれば食事摂取を可能にし、その時点でできることは改善した。売店の営業時間拡大の希望もあったが難しいため、自動販売機で購入できる商品の希望を聞き、次年度からアイスクリームの自動販売機を設置することになった。通学に関してはシャトルバスを出してほしいとの希望もあったが公共機関の利便性もよいため、「令和 5 年度の学びとキャンパスライフ」に公共交通機関について詳しく説明を加えた。

◆学びとキャンパスライフの利用について、57%の学生が利用すると回答していた。昨年度は 34%の学生しか利用していなかったため、担任をはじめ活用を促し、各自で考えて行動するようにとのアプローチにより利用が増えたと考える。

「生活付帯設備」「インターネット環境」「冷暖房設備」に関しては、昨年度までは半数以上あるいは半数近くの学生が満足していないと回答していたが、今年度は満足していないと回答したが 20%未満に減少した。新キャンパスに移転し設備等が新しくなったことで改善がみられている。しかし、ロッカーが狭い、混雑する等ロッカールームに関する自由記述での意見は 18 件あった。3 年生は学内で白衣等に着替える機会が少ないためか満足していない学生は少なかったが、1・2 年生は 30%以上の学生が満足していないと回答していた。同じ学年が重ならないよう列ごとに異なる学年の配置にして工夫はしたが、上下 2 段になっているため狭く感じているのか。設備自体は変更できないため、学生の使用する場所等検討の必要がある。駐輪場の設備については 16%が満足しておらず、自由記述でも 10 件の意見があった。そのうち 3 件は屋根を付けてほしいとの意見であった。屋根の設置は難しくても雨具置き場を作る等の

対策は必要である。

◆友人関係には 88%の学生が満足しており、全般的には 79.6%の学生が学生生活に満足していた。

## 2) 生活実態調査

1日の学習時間が0時間の学生が各学年数名いること、余暇のインターネット利用時間については1日のインターネット使用時間（学習以外）が2時間以上の学生が68.5%で、15%の学生は4時間以上使用している。そのためか睡眠時間が6時間未満の学生が61.6%であった。学習時間及び睡眠時間の確保とともに、SNSの利用については引き続き注意喚起を継続していく必要がある。所定の修業年数で卒業し国家試験合格のためにも、学修習慣がつき学力が定着するような指導及び働きかけが求められる。アルバイトについては、昨年同様実習期間中は禁止にしていたこともあり、学年が上がるにつれ、アルバイトをしていない学生数が増えている。

## 2. 医療介護福祉学科

### 1) 学生生活満足度調査

担任による支援、教員支援などの学科教員の支援体制に対して「満足している」「おおむね満足している」と回答している学生が8割を超えている。その結果から、教員の支援体制には満足していることが伺えた。また、大学や学友会による行事に対して「満足している」「おおむね満足している」と回答した学生は、46.1%であった。コロナ禍における学友会活動が少しずつ再開できるようになり、スポーツ大会やクリスマス会や学園祭の参加が可能となった。しかし、「参加していない」と答えた学生も34.6%おり、案内の仕方や積極的に学友会活動に参加する等の工夫をしながら学生生活の充実を図り、満足度を上げていく。また、クリスマスのイベントに関しては1年生の在宅実習の時期でもあり参加できていない。学友会に医療介護福祉学科の学生が参加することで学友会活動の時期の見直しや実習のため参加できていない学生も楽しめる企画を学生が提案できるよう支援する。加えて、学生のボランティア活動についても、「0時間」「0-1時間」と答えた学生が76.9%であった。これはボランティア活動がコロナ禍で自粛されていたこともあるためであり、今後は、福祉施設のイベントも再開してボランティアの依頼が増えることも予測され、ボランティアの募集案内が学生にわかりやすく掲示するなど参加しやすい環境を整えていく。

また、講義室の整備については、「あまり満足していない」「ほとんど満足していない」と答えた学生が15.4%おり、椅子が固く学修に集中できないとの意見があがったが、学生の意見を反映して、新年度向け早急に椅子に変更する対策を行い学修環境は整った。

### 2) 生活実態調査

1日の学習時間が「0時間」「0-1時間」と答えた学生が50%おり、予習復習を含めた学修習慣が身につけていないことがうかがえる。3年後の国家試験を視野に入れた早期からの学修習慣の習得できるよう、学生の個々の持つ力を教員が知り、学生の個性にあわせた学修方法を工夫していく。

## 3. 大学全体まとめおよび対策

### 1) 学生生活満足調査に関するまとめと対応

学科による支援については、担任による支援、教員支援については「満足している・概ね満足している」が7～8割と教員・学科の支援に対する満足が窺える。それに対してコロナ禍であったためとも考えら

れるが学科行事に対する満足度がやや下がっていた。また、事務室や図書館に対する満足度も同様 7～8割が概ね満足と答えている。学生の健康等への支援については、学生相談、健康支援室を利用しない学生も多数いるが、利用している学生への満足度は6～8割の学生が満足している。また、自由記述で要望もあったが、学習環境としての講義室、実習室の満足度は高かった。

岡山キャンパス移転となり、キャンパスの設備については、全般に満足している学生が7～8割であり、ネット環境、通学補助設備などが5～6割と低く、自転車通学の制限などが影響したと思われる。また、体育館設備が岡山キャンパスにはないことから運動設備についての満足度が低値となっている。

アンケートの自由記述では、ロッカールームの混雑、雨合羽置き場の設置希望、自転車置き場の屋根の設置希望、飲食可能場所の拡大希望、教室へのごみ箱の設置希望、自動販売機の種類を買う大等の希望が多数寄せられた。改善可能であった雨合羽置き場の設置、飲食可能場所の拡大、自動販売機にアイスクリームの導入など行い要望に応えた。

講義環境やネット環境については、教務部を中心に Wi-Fi の基地局の調査・調整、プロジェクター、マイクなどの調整を早急に実施した。座椅子についても一部椅子を交換して対応した。

## 2) 生活実態調査のまとめ

生活実態調査では、1日の学習時間が0時間の学生が両学科ともに数名存在し、また1時間未満の学生も20～40%といることから予習・復習などの学習習慣が身につけていないことが窺えた。また、学習時間以外のインターネット使用時間の多さからも両学科ともに国家試験に臨む専門職であることを念頭に、継続的学習の重要性を指導していく方針を学生生活支援委員会をはじめ、大学全体で改めて共通認識した。